

7月7日は「☆^{ほし}乾しいたけの日」

乾しいたけは、森林の恵みとして、古くから日本の食文化と山村社会の形成に貢献してきました。

おいしさや栄養豊富であることなどをもっと知っていただき、消費拡大につなげていくため、本年から乾しいたけの生産・流通業界関係者の団体である「日本産・原木乾しいたけをすすめる会」は、7月7日を「乾しいたけの日」と制定し様々な取組を行うこととしており、林野庁もこうした取組を後押ししています。

乾しいたけの購買層の拡大のために新たなキャラクター「乾しいたけ貴婦人」も登場し、乾しいたけのPRに努めています。5月には日比谷公園で開催された「みどりとふれあうフェスティバル」に乾しいたけ貴婦人が登場し、たちまち来場者の人気者となりました。

そして、7月7日「乾しいたけの日」には、同じ日を「そうめんの日」とするそうめん関係団体等と協力し、銀座数寄屋橋において、街ゆく人に乾しいたけをPRするイベントを開催することとしています。



貴婦人と記念撮影
「ハイしいたけ!!」



新たなキャラクター
「乾しいたけ貴婦人」

日本全国で働く森林官

国有林の現場の最前線で働く森林官。その勤務場所である森林事務所は全国各地にあります。そこで、今回は、東西南北端にある森林事務所をご紹介します。

最北端は、宗谷森林管理署稚内森林事務所。北海道稚内市内にあります。最南端は、沖縄森林管理署大原森林事務所。沖縄県の西表島にあります。稚内森林事務所は北緯45度線よりも北にあり、森林官が管轄する国有林は亜寒帯林に属す一方、大原森林事務所は北緯25度線よりも南にあり、周りは亜熱帯林で、森林の様子は両者で全く違うものになります。

次に最東端ですが、これは根釧東部森林管理署落石森林事務所おちいしで、北海道の根室半島にあります。最西端は、沖縄森林管理署租納森林事務所そないで、こちらも沖縄県の西表島にあります。西表島にある2つの森林事務所が最南端と最西端を占めています。ちなみに国立天文台のホームページによれば、本年7月1日の根室市の日の出は3時41分、那覇市の日の出は5時40分だそうです。

広い日本。その各地で森林官は働いています。

林野庁 プレスリリース	
5月1日	「富士山」の世界遺産一覧表への記載推薦に関するイコモスの評価結果及び勧告について(第二報)
5月1日	木材利用ポイント事業で寄附を受けられる森林づくり・木づかい活動団体の募集について
5月1日	木材利用ポイント事業における木材製品、木質ペレットストーブ・薪ストーブ及び製造事業者の募集について
5月10日	「平成25年度 山地災害防止キャンペーン」の実施について
5月13日	第12回「聞き書き甲子園」の開催について
5月20日	「後世に伝えるべき治山～よみがえる緑～」選定委員会の開催について
5月24日	林農林水産大臣の国内出張について



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。